沼津市井田（いた）地区
における津波対策の方針

令和７年９月

静岡県・沼津市

目　次

１　はじめに

２　地区協議会意見のまとめ（津波対策の基本方針）

３　津波対策の方針（結論）

（参考資料）

参考１　検討経緯

参考２　主なソフト対策（沼津市津波対策計画より）

１　はじめに

静岡県では、津波の到達時間が短く、沿岸域に人口や資産が集中していることから、甚大な津波被害が想定されています。このため、地域の特性を踏まえた最も相応しい津波対策を「静岡方式」と称し、市町と協働で検討し、ハード対策（施設整備）とソフト対策（避難対策）を組み合わせ、津波被害の防災・減災を図ることとしています。

特に伊豆半島沿岸では、変化に富んだ入り江毎に人々の暮らしがあり、津波対策が観光や漁業等へ影響を与えることが懸念されるため、本県では 10 市町を 50 地区に細分化し、住民等の参画を得ながら、取り組むべき津波対策の方向性を検討することにより、地区の津波に対する安全度を向上させることとしています。

当地区では、地元自治会や関係機関・団体で「沼津市津波対策井田地区協議会」を組織し、平成 28 年から令和７年にかけて、地区として最良であると考えられる津波対策の検討が重ねられ、「沼津市井田地区における津波対策の基本方針」が取りまとめられました。

今回、静岡県及び沼津市は、この基本方針を尊重し、地区の実情を踏まえた総合的な津波対策の方針である「沼津市井田地区の津波対策の方針」を作成しました。

静岡県及び沼津市は、今後、本方針に基づき津波対策を推進していきます。なお、本方針に記載の事業の実施にあたっては、予算の確保を含め、国その他関係機関等との調整を踏まえ実施していきます。

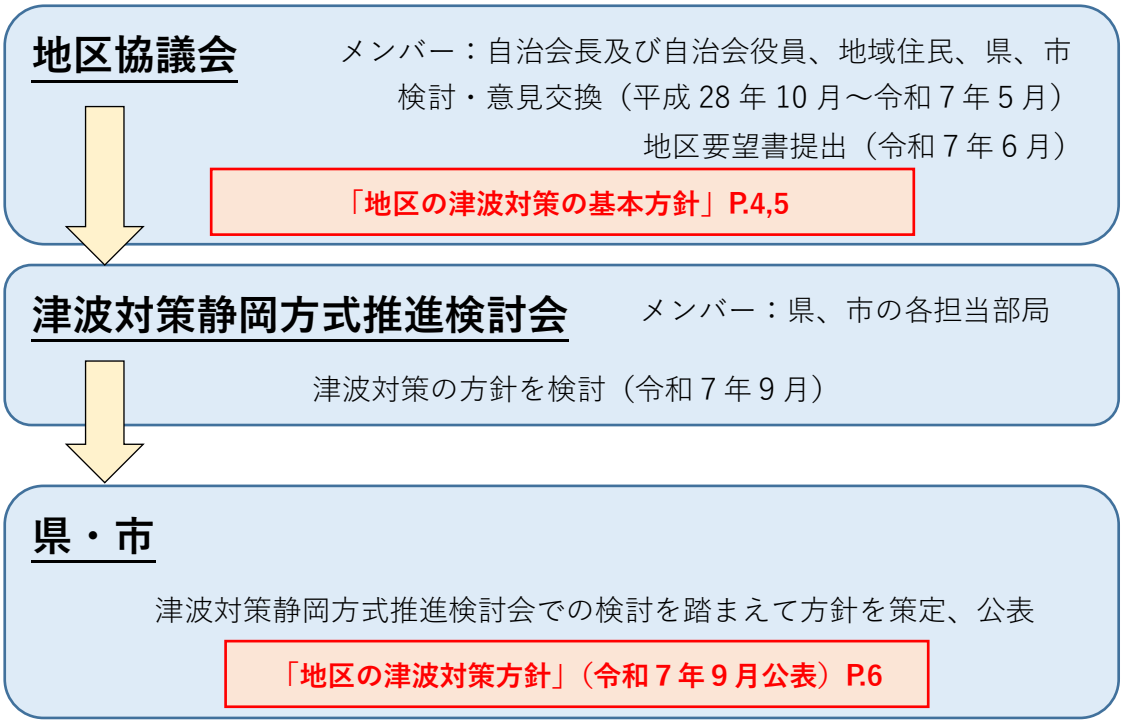


図　井田地区の津波対策の検討フロー

２　地区協議会意見のまとめ

沼津市井田地区における津波対策の基本方針

地区内の意見を考慮し、津波対策の基本方針を取りまとめました。

ソフト対策

（意見の抜粋）

・住民一人一人の避難への備えが大前提

・ダイビングや海水浴などに訪れる観光客の円滑な避難が必要

→（基本方針）

防潮堤の高さを超える津波に備え、住民や観光客等の主体的な避難を後押しするソフト対策を推進する。

ハード対策

（意見の抜粋）

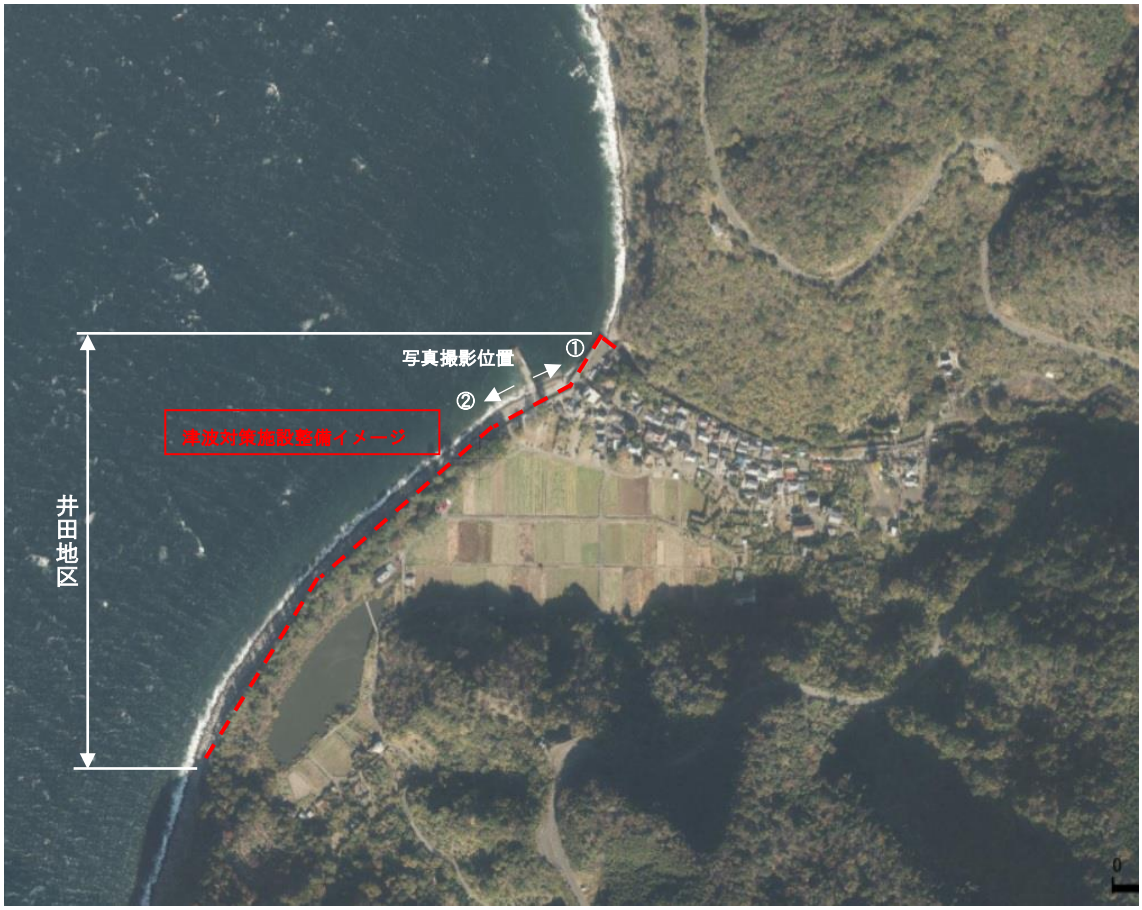
・高齢者等避難に時間がかかる者が多く、逃げる時間を確保すべき

・ソフト対策だけでは対処できないため、レベル１津波に対応した防潮堤を整備してもらいたい

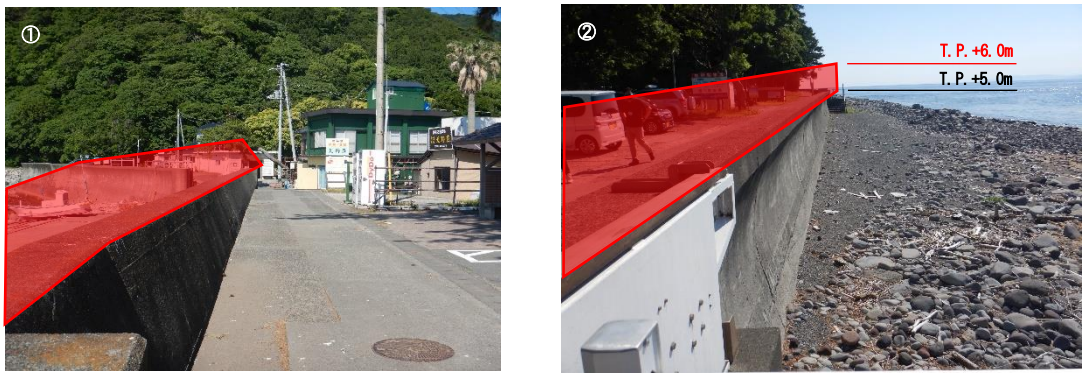
・津波対策施設の整備範囲については、今後、協議する

→（基本方針）

井田地区は、避難する時間を最大限確保することで被害を最小化するため、比較的発生頻度が高いレベル１津波に対応する防潮堤（T.P.+6.0m）の整備（嵩上げ）を行う。整備にあたっては、整備範囲等を市と住民で協議する。



位置図



津波対策施設整備イメージ

３　津波対策の方針（結論）

静岡県と沼津市は、沼津市津波対策井田地区協議会で取りまとめた「沼津市井田地区における津波対策の基本方針」をもとに、「沼津市井田地区の津波対策の方針」を策定しました。

沼津市井田地区の津波対策の方針

１）避難について

・　あらゆる可能性を考慮した最大クラスのレベル２津波に対する住民や観光客等の迅速かつ主体的な避難について、「静岡県地震・津波対策アクションプログラム 2023」、「沼津市地震・津波対策アクションプラン」、「沼津市津波対策計画」に基づくソフト対策を推進する。

２）施設整備について

・　比較的発生頻度が高いレベル１津波に対し津波対策施設を整備する。
・　整備にあたっては、住民の命を守ることを念頭に、整備範囲等を当地区と協議しながら取り組んでいく。

３）その他

・　これらの津波対策は、沼津市井田地区、静岡県、沼津市及び関係機関が協力し、着実に実施していく。
・　静岡県の地震津波被害想定等が見直された場合は、この方針について適宜見直すこととする。

（参　考　資　料）

参考１　検討経緯

井田地区では、平成 28 年 10 月 12 日に開催した津波に対する意見交換ワークショップ（戸田地区と合同）を契機に、ハード・ソフトの両面における津波対策の検討が行われてきた。

ハード対策の在り方については、防潮堤の嵩上げに係る意見交換や意向確認が重ねられ、令和７年５月 21 日にレベル１津波高での防潮堤整備を含む基本方針を決定した。

・地区協議会

① 構成

メンバー	・井田自治会長
	・自治会の役員
	・地域住民
	・沼津市（危機管理課）※事務局
	・静岡県（沼津土木事務所）※事務局

② 開催状況（出席者に沼津市・静岡県関係者は含まない）

回	開催日 場　所	出席者	概　　要
1	H28.10.12 戸田地区センター	20 名 戸田地区含む	・津波対策検討 ・意見交換
2	H28.12.6 戸田地区センター	20 名 戸田地区含む	・津波対策検討 ・意見交換
3	R1.7.17 井田自治会集会場	５名	・津波対策検討 ・意見交換
4	R2.10.27 井田自治会集会場	５名	・津波対策検討 ・意見交換
5	R3.2.12 井田自治会集会場	５名	・津波対策検討 ・意見交換
6	R3.7.13 井田公会堂	５名	・津波対策検討 ・意見交換
7	R7.1.27 井田公会堂	２名	・方針確認 ・意見交換
8	R7.5.21 井田マリンサービス	２名	・方針決定 ・意見交換

地区協議会の様子

参考２　主なソフト対策

沼津市では、「静岡県第４次地震被害想定」の公表（平成 25 年６月）を受け、人命を守り、市民が安全・安心に暮らせるよう「人的被害の最小化」を目指した実効性のある地震・津波対策を進めるため、今後の行動目標となる「沼津市地震・津波対策アクションプラン」を策定（平成 26 年３月）し、ハードとソフトの両面から継続的に対策を進めた。

「沼津市地震・津波対策アクションプラン」を基に進めてきた取組を目に見える形で総括し、避難方向等の原則を明示することにより更なる安全性の向上に繋げるため、「沼津市津波対策計画」と「逃げ地図」を策定（平成 31 年３月）した。

沼津市津波対策計画における対策内容

対策内容	対策に係る沼津市地震・津波対策アクションプラン	
	No.	内容
住民に対し、迅速な避難行動を啓発（３分避難を徹底）	19	的確な避難行動に向けた防災講座の開催
	25	地域による防災訓練の充実・強化
住民意見を反映し、適切な避難方向を設定	19	的確な避難行動に向けた防災講座の開催
	25	地域による防災訓練の充実・強化
新規津波避難施設等について案内看板を設置	6	迅速避難誘導看板の整備
基準水位の基準に、津波避難ビルガイドラインを改訂	1	地域特性に応じた避難場所の整備
耐浪化建築物についての検討を進める	40	災害に強い安全なまちづくりの推進

地元と連携した取組（井田地区）

地元自主防災会からの要望を踏まえ、津波避難路や津波避難施設の照明等の整備に係る補助に取り組んでいる。

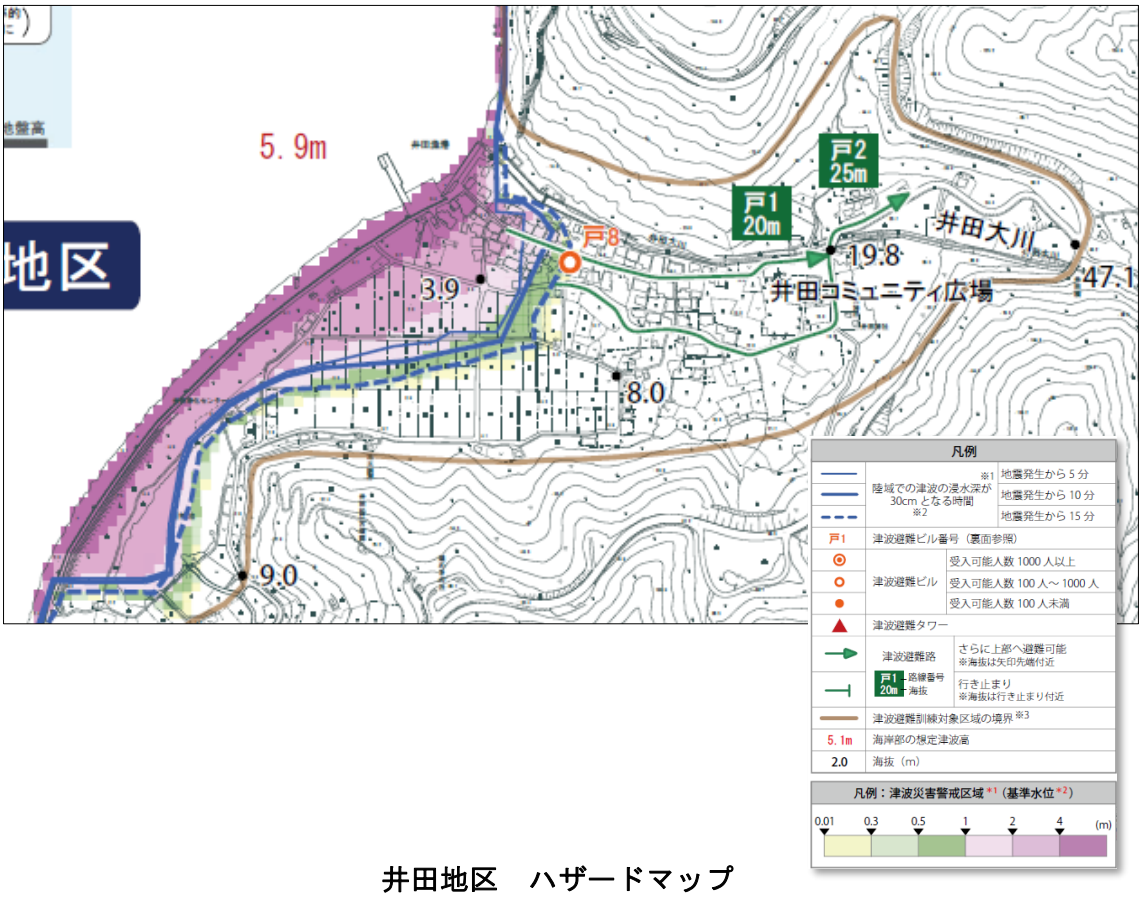
津波避難路名称	整備年度	整備内容
戸２	平成 28 年度	夜間照明整備
戸１	平成 30 年度	夜間照明整備

津波避難ビルの登録（井田地区）

津波の被害から市民の生命を守るため、下記の建物を津波避難ビルに登録した。

津波避難ビル名称	登録年月
井田集会所兼特産物加工施設	令和２年２月

井田地区　逃げ地図



井田地区　ハザードマップ